

新のりの手巻きずしを食べる児童



有 明海の新しいのりをいただきます 市内の小中学校で海苔給食

有明海で採れたのりを子どもたちに食べてもらおうと2月4日、市内25の全小中学校の給食で有明海産の新しいのりが提供されました。これは、2月6日の「海苔の日」にちなんで福岡有明海漁業協同組合連合会が毎年企画しているもの。皿垣小学校（橋本秀博校長）の1年1組では、児童が厚焼き卵やニラのサラダ、ご飯をのりに巻いて手巻きずしにしてほおばっていました。堤爽馬君は「のりが大好き。パリパリしておいしかった」と笑顔を見せていました。

完成した冊子を金子市長へ手渡す顕彰会の立花会長（左）



儒 学者省菴の功績を多くの人に 安東省菴の生涯をまとめた冊子が完成

安東省菴顕彰会は、省菴の生涯をまとめた冊子4000部を作成しました。これは、同会と市が令和元年度から協働で取り組んでいる事業の一環。柳川藩士の省菴は、立花宗茂の命で儒学を学び、藩校伝習館の礎を築くなど「柳川の学問の祖」と称された人物です。冊子はイラストを交え、漢字全てにふりがなを付けるなど、小学生でも読みやすいように工夫。市内の小中学校や図書館に置く他、市公式サイトで見ることができます。



公式サイト

大牟田北高校書道部による作品



筆 にふるさとへの思いを込めて 藤吉校区公民館「新春書き初め大会」

1月23日、藤吉コミュニティセンターで新春書き初め大会がありました。コロナ感染拡大を防ぐため規模を縮小して開催。予定していた地域住民との交流は行わず、大牟田北高校書道部員が書道パフォーマンスを披露しました。地域住民50人が見守る中、音楽に合わせて畳12畳ほどの紙に柳川への思いを込めた大きな文字を書きました。同校2年で部長の高山結衣さんは「市出身の部員が中心となって企画し、ふるさとの発展を願うパフォーマンスができた」と話しました。

全国大会出場を報告した藤丸君（左）と北村君



全 国大会ベスト8以上を目指す 全国小学生ソフトテニス大会出場を報告

1月27日、柳川ジュニアソフトテニスクラブに所属する藤丸尚大君（藤吉小6年）と北村晴斗君（矢ヶ部小6年）のペアが、沖教育長へ全国小学生ソフトテニス大会出場を報告しました。昨年11月に開催された県大会で3位となり全国への切符を獲得。全国大会へ向けて、藤丸君は「学んだことを生かし、最後まで楽しくプレーしたい」、北村君は「しっかり声を出して、連携して最後まであきらめずプレーしたい」と話し、「目標はベスト8以上」と意気込みを語りました。

ま ちかど レポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係（☎77・8425）

女 の子の幸せと健康を願って 柳川雛祭りさげもんめぐり開催中

柳川雛祭りさげもんめぐりが2月11日から開催されています。初節句の女の子の幸せと健康、無病息災などを願い、市内各所にさげもんが登場。沖端さげもんパークは、昨年の2倍の40本のさげもんを設置。日没から午後9時まではライトアップされています。また、柳川よかもん館は、巨大さげもんなどを設置。買い物の帰りにさげもんを見に来た親子は「家には小さな雛飾りしかないの、見に来た。たくさん飾っているのきれい」と写真撮影を楽しんでいました。



沖端に登場したさげもんパーク
柳川よかもん館のさげもん

消火器の使い方を確認する古賀地区の住民



訓 練で防火意識高める 日子山神社で文化財火災想定訓練

1月16日、古賀地区の日子山神社で文化財火災想定訓練が行われました。これは、地域の文化財を火災から守ろうと、文化財防火デー（1月26日）の時期に市が毎年実施しているもの。地域の住民や消防団、市消防本部の職員など約100人が参加しました。訓練は、同神社の本殿から出火したと想定。地元住民が文化財を運び出し、消防団員らが素早くホースをつないで放水しました。その後の消火器取り扱い訓練では、消火器の使用手順などを再確認しました。

タブレット端末を使ってドローンを操縦する児童



最 先端の技術に触れる 市内で初開催 大和小でドローン教室

大和校区公民館と中央公民館は1月16日、大和小学校でドローン教室を開きました。まず、講師の新谷裕幸さんが、農業の種まきや風力発電の点検などでドローンが使われていることや、200g以上のものを飛ばすときは国の許可が必要なことなどを説明。その後、参加した同校の5、6年生11人はタブレット端末を使って実際にドローンを飛ばしました。同校6年の堤亮二君は、「思ったより簡単でびっくりした」と初めてのドローン操縦に感激していました。